

## 参議院予算委員会で「ワンヘルスについて」議論が交わされました !!

令和4年10月19日（水）に開催された「参議院予算委員会」において、福岡県選出の松山政司参議院議員が岸田文雄総理大臣に対して「ワンヘルスについて」質問されました。

### 【松山政司：参議院議員】



感染症対策、特に、人・動物・環境の健康を一体として守る「ワンヘルスについて」お伺いいたします。

6年前に当時の日本医師会の横倉会長と日本獣医師会の藏内会長のご尽力で、世界獣医師会と世界医師会が福岡県北九州市小倉で『ワンヘルス国際会議』を開催しました。

そこで、人獣共通感染症の防止や薬剤耐性菌対策などを含むワンヘルスを実践していく決意として、『福岡宣言』が取りまとめられました。

さらに、福岡県議会による「ワンヘルス推進基本条例」の議決、また、福岡県知事によるアジアの人獣共通感染症の中核施設づくりなど、福岡県ではワンヘルスの推進に関わる取組みが進んでおります。

地方での緊急事態措置の実施体制を強化するため、国の機関としてアジア新興人獣共通感染症センターを福岡に設置するという構想もございます。

今年11月に福岡市でアジア獣医師会連合（FAVA）によるワンヘルスの推進大会が開催されます。

今年の1月に、私は岸田総理に代表質問の中で「**新型コロナウイルスのような人と動物の共通感染症に対して、このワンヘルスをどう考えるか？**」とご質問させていただきましたところ、総理からは非常に前向きなご答弁をいただいたところです。

現在、総理は感染症流行時の司令塔機能を強化していくという姿勢を示しておられますが、我が国における感染経路対策や感染源対策の犬や猫などの愛玩動物、また、野生動物の感染症についての調査研究は空白領域となっております。

これでは動物由来の感染症の発生を事前に察知することは困難でありまして、必要な感染症対策が後手に回ってしまいかねません。

そこで、総理に2点お伺いいたします。

まずは司令塔機能強化の中で、これらの課題への対応も含めて、ワンヘルスをどのように位置づけていくおつもりでしょうか。

加えて、福岡県でのワンヘルスの取組みは、どのように生かして、我が国、さらにアジア及び世界のワンヘルスに貢献をし、人・動物・環境の健康を一体としてどう守っていくおつもりでしょうか。

総理のご所見をお願いいたします。

### 【岸田文雄：内閣総理大臣】



感染症対策については、人と動物は相互に密接な関係にあることから、ワンヘルスの考え方に基づき、総合的に対応していくことは重要であると認識をしております。

本年6月の新型コロナ対応に関する有識者会議報告書においても、人獣共通感染症の脅威への対応、この対応の必要性が指摘されているところです。

**政府としては、次の感染症危機に備え、感染症対策を強化する中で、全国に先駆けた福岡県のワンヘルスの取組み、これを参考にさせていただき、人獣共通感染症対策についても、引き続き、重要な課題として取組みを進めていきたいと考えております。**

2022年10月21日

福岡ワンヘルス協議会・事務局